

(様式1-5)

檜葉町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和4年7月29日時点

※本様式は1-3, 1-4に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	国と地域が連携した情報発信イベント	事業番号	A - 4
事業実施主体		檜葉町	総交付対象事業費		1,165千円
既配分額		千円	当該年度交付対象事業費		1,165千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業					
①情報発信事業					
				小計	1,165千円
i) 風評動向調査					
ii) 体験等企画実施					1,165千円
iii) 情報発信コンテンツ作成					
iv) ポータルサイト構築					
②外部人材活用					
				小計	千円
i) 企画立案のための外部人材の活用					
ii) 地域の語り部の育成					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					
風評の払拭に関する目標					
【アウトプット】					
・名古屋市内 復興庁主催イベント ブース出展 1回 (檜葉町の特産品の販売を中心としたPRイベント)					
・SNS (Facebook、Instagram) による情報発信等 計10回					
【アウトカム】					
イベント来場者数 5,500人					
福島県に対するイメージが向上した者の割合 70%					
・復興庁が実施するアンケート調査結果を利用					
事業概要					
事業実施主体	檜葉町				
主な企画内容	・名古屋市内での特産品販売等を中心としたイベントの開催 ・SNS等を利用した情報発信				
主な事業の実施場所	名古屋市内				
事業の実施期間	令和4年11月				
企画内容					
【実施体制】					
①実地主体：檜葉町					
②連携団体及び役割分担					
(1) 檜葉町：事業の実施、関係団体との調整等を行う。					
(2) 復興庁：イベントを主催					
(3) 委託業者：イベントの企画、運営等を行う。					
(4) 檜葉町振興公社：特産品の販売を行う。					

【現状・課題】

<現状>

風評の払拭については、これまでの取組より一定の成果を上げているものの、福島県産農林水産物の全国平均価格との乖離、観光業の不振等が今も続いている。

このような科学的根拠に基づかない風評は、福島県の現状についての認識が不足していること、放射線に関する正しい知識等が十分に周知されていないことなどに原因があると考えられる。

<課題>

国（復興庁）及び地域（福島）が、風評の払拭に向けて、それぞれ効果的な情報発信を実施してきたが、両者が一体となつての情報発信は実施できていない。

風評の払拭に向けては、これまで、ラジオ、テレビ、インターネット等のメディアを活用した情報発信及びシンポジウム、販促イベント等の直接的な双方向コミュニケーションによる情報発信を行ってきたが、後者については、首都圏を中心に行われてきた。

【現状の課題に対するこれまでの取組】

- ・首都圏イベントでの特産品の販売
- ・町公式HPで、食品等の放射線モニタリング検査結果の公表
- ・特産品であるゆずやサツマイモを使った6次化商品の開発、及びそのPR
- ・自然環境の安全性PR、またその魅力を高める取組としてアウトドアアクティビティ造成、体験企画の実施
- ・J3のプロサッカークラブチーム「いわきFC」と連携した魅力発信

【事業実施により得られる効果】

- ・国（復興庁）及び地域（福島）が連携・協力し、情報発信することにより、それぞれの総和以上の発信力を発揮することを狙う。
- ・そのため、直接的な双方向コミュニケーションによる情報発信は、首都圏を中心に実施してきたところであるが、中部圏に対しても強い発信力をもって伝えることができる。
- ・檜葉町産品の安全及び品質を中部の消費者に直接伝えることができる

【今年度事業における具体的な取組内容】

名古屋市内の復興庁主催イベント

【テーマ】

復興庁の風評払拭・リスクコミュニケーション強化戦略として、

①福島復興の現状等を「知ってもらう：放射線に関する正しい知識の理解と誤解の払拭」

②福島県産品を「食べてもらう：福島県産品の利用・販売促進等」

③福島県に「来てもらう：国内外からの被災地への誘客促進」の3つの大項目の観点から、

多くの人にアピールするため、中部圏の主要都市である名古屋市において、人の交流が増加する週末に、効率的に①～③の該当項目の情報を発信する。国（復興庁）においては、①の情報発信を行い、地域（福島）においては、②③を中心に情報発信を行う。

【日時】令和4年11月23日（水・祝日）1日間（現在の最有力候補日となります。）

【場所】名古屋市内

【ターゲット層】ファミリー層、アウトドア愛好家

【情報発信】公式HP、SNS（Facebook、Instagram等）及び復興庁HP・関連団体（檜葉町振興公社）等を利用し発信

【概算費用】1,165千円（内訳：委託費 895千円、職員旅費 270千円）

【販売予定品目】

ゆず加工飲料（ゆずサイダー、ゆずリキュール）、さつまいも加工食品（芋けんぴ、大学芋）等

【事業内容】

檜葉町産さつまいもの味が凝縮された「さつまいもラテ（Na-latte）」の試飲提供等を呼び水として、特産品の美味しさや新たな魅力を伝え、販売に結びつける。また、商品を購入した方向けに福引を行う。福引の景品は、檜葉町天神岬温泉の宿泊券などで、檜葉町への来訪に繋げる。

さらに、ご当地キャラクターの「ゆず太郎」を活用して集客を図り、ブースにて町の自然環境と、アウトドアアクティビティ（SUP、カヌー、林道サイクリング等）の魅力発信する動画の上映を行う。

【今年度事業における目標】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【今年度事業の実施により得られる効果】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【次年度以降の取り組み】※複数年度にわたって事業を実施する場合

【新型コロナ感染拡大防止対策】

事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、国・実施主体する地方公共団体・（イベント開催など実施主体と開催地が属する地方公共団体が異なる場合には、開催地が属する地方公共団体）が発出する通知・ガイドラインに則った形で事業を実施いたします。
<具体的な対策>

- ・スタッフの体調管理、手指消毒、マスク着用の徹底
- ・来場者への手指消毒、検温等協力をお願い